

学校長あいさつ

はじめに、本校は「人権尊重の精神を基調として、国際的な視点に立ち、積極的に社会に貢献できる児童の育成を目指す。」と教育目標を設定しております。さらに「世界へかがやけ外手の子」というスローガンも設定しております。「世界へ」は、国際理解教育の推進と充実をめざす意味を込めています。「かがやけ」には、それぞれの字に対応して、「か」…「かんがえる子」、「が」…「がんばる子」、「や」…「やさしい子」、「け」…「けんこうな子」という児童を育てるという意味を込めています。

次に、学校教育目標の実現にむけて「めざす児童像」「めざす学校像」「めざす教師像」を重点目標として設定しております。

めざす児童像は、「自分とひとを大切にできる子」です。これは、自他の生命を尊重し、思いやりをもって他者に接することのできる児童の育成を意味しています。自分や他の人々の生命を大切にすることが重要であることは言わずもがなです。自分の生命を大切にすることは、健康増進と自己実現に向けての礎となります。他者の生命を大切にすることは、相手への思いやりに通じ、人権尊重の精神の礎となります。「ひと」だけでなく「もの」へ思いやりを広げることで、規範意識や公德心の礎ともなります。

めざす学校像は、「子供や孫を通わせたい学校」です。保護者の方々や地域の方々が自分の子供や孫を通わせたいと思っただけの学校をめざします。そのためには、まず、安全で安心のある教育環境を整えます。その上で、児童が「知・徳・体」をしっかりと身に付けることができ、どの児童もかがやくことのできる学校づくりを推進します。

めざす教師像は、「使命感のある教師」です。私たちは、粉骨砕身の気持ちで児童の教育に取り組み、自らの指導力向上のための努力も怠らない教師であることをめざします。

これら3つの重点目標を達成させることを通して、学校教育目標の実現をめざします。コロナ禍と言われている社会状況下ではありますが、児童の安心・安全を最優先に考え、工夫しながら教育活動を進めてまいります。

そして、教職員一同、力を合わせて誠心誠意努力し、将来にわたって豊かにたくましく生きるための基礎「世界へかがやけ外手の子」を育ててまいります。皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

墨田区立外手小学校
校長 由良 隆